




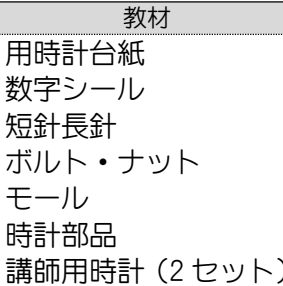
5歳児クラス 5月 第1回 「どうぐ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが思考しながらお話を聞けるように工夫をする 非常に細かい描写で描かれている絵本なので、子どもが興味を示したページは映像をズームで大きく映し出したしたりしながらすすめる（例：時計の部品のページ 興味深い絵が描かれている） 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> お部屋にある道具（ほうき・ちりとり・くぎ・とんかち・ペンチ・ネジまわし）等を提示し、どんな風を使うのかみんなで考える。道具に対する興味を持たせてからお話を始める。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 子ども達と一緒に考えたり、意見を言う。 	

がくしゅうタイム

活動①	生活	用途に合う道具がわかる	
設問	歯を磨くときに使うものはどれですか。 食事をするときにするものはどれですか。その絵を指でさしましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「どうぐ博士から郵便ですよ」 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ありがとう、何が入っているかな」「クイズだ！やってみる？」「やりたい人!？」と手を挙げるなどやる気を引き出し、プリントに繋げる。 プリント配布。名称の確認。 口に出して答えると周りに聞こえるので、指でさすように約束する 講：「それでは問題です。～を指でさしてください」皆が指しているか確認 「次の問題です…」等で、クラスに合わせてすすめる <ul style="list-style-type: none"> 掃除するときにするもの 洗濯物を干すときに使うもの かなづち、くぎの用途についても触れる 賞賛して終了 		P 1 保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 郵便を届ける 一緒にやる気の出る言葉かけをし、手を元気よく挙げて盛り上げる。 迷っている子のフォロー 賞賛 		
活動②	製作	指先を使い（巧緻性）時計を作る	
設問	いろいろな道具を使って時計を作りましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「じゃーん、こんなに素敵な時計を作りました」完成した時計を提示（事前に1つ作っておく） 講：「すごい！先生にも見せて」で受け取る どんな材料で作られているのかを確認。ボルトとナットの名称も確認。 ボルトとナットはどんなものに使われているのか子どもたちに問いかける。 講：「こんなに素敵な時計先生も欲しいから、ちょうだい」 保：「これはあげられないんだけど、材料があるよ」、材料を1セット渡す。 講：作り方の見本を見せる 		教材
活動内容	【時計の作り方】 ①時間の数字シールを台紙に貼る ②台紙にボルトとナットを使って針を留める ③上の穴にモールを通してねじる ※完成した時計の針を動かすときは、片方の針を指でおさえながら動かす ※ボルトとナットは両手を使ってしっかり留める ※ドーナツ型の部品は、針と台紙の間に挟んでボルトとナットで留める。（針をまわしやすくするため）		用時計台紙 数字シール 短針長針 ボルト・ナット モール 時計部品 講師用時計（2セット）
	保育士の役割		<ul style="list-style-type: none"> 時計の提示 材料を渡す 制作時は子ども達のフォロー

数子ヤレ	<small>ねらい</small>	時計を読む 時計に興味を持ち時計の読み方を知る	教材
<small>設問</small>	針を動かして時間を合わせましょう。		時計
<small>活動内容</small>	時計を使って、〇時を確認する。(6時・12時など) ※時計は3回続けて使用します。持ち帰らずお部屋に飾るなど工夫する。		保育士の役割 ・時間の苦手な子のフォローをする